

## R2.1.16 令和元年度第2回北斗市総合戦略検討・推進会議 議事概要

### ◎司会進行 企画課長

#### 1 開会

○開会に当たり、市を代表して副市長より挨拶

委員の皆様におかれましては、新年を迎え大変お忙しいところ、本日の第2回北斗市総合戦略検討・推進会議にご出席をいただき、ありがとうございます。

また、本会議の任期は1年ということで、本日から新たな任期が始まる場所です。

引き続き、または新たにこの会議の委員をお引き受けいただきましたことに、改めて御礼申し上げます。

ご承知のように、総合戦略は全国の自治体で策定をしております。この背景には人口減少というものが大きな問題になっているということがあります。

第1期の北斗市総合戦略を策定した時期は、北海道新幹線の開業年度であり、新幹線開業を前面に掲げた中でこの4年間取り組みを進めてきました。

しかしながら、人口減少のスピードを緩める、改善するというのは大変困難な問題で、現時点での住民基本台帳の人口は46千人を若干上回っているという、なかなか減少に歯止めがかからないというのが実態です。

その中身としては、年少人口は減っていく、生産年齢人口も減っていくという一方で、老年人口が増えていく、さらには外国人登録も一定数いるというプラス要因もあり、維持しているという現状です。

2040年問題、高齢化がピークを迎え、それ以降急速にさらに人口減少のスピードが加速するという状況になるというのが現実です。

そういったことを踏まえ、来年度から始まる第2期の総合戦略を策定していくということになります。

第1期の戦略は幅広く網羅しすぎたということが反省点としてあるので、第2期は絞り込んでいきたい、また関係する主体とも関わりを強め、多様な皆さんの参加をいただく、連携をより強めていくということも含め、基本方針にはSDGsの誰ひとり取り残さないというような基本理念を取り入れるという考え方です。

第2期の策定に向けて、本日も委員の皆様から様々な幅広いご意見をいただいた上で、このあと取りまとめ作業に向かって何回か会議を開催したいと考えております。

人口減少という現状からすると、実効性のある、北斗市の強みを発揮できる計画を策定して参りたいというように考えておりますので、委員の皆さんのご協力をお願い申し上げます。

○事務局より会議の趣旨説明、配付資料の確認、委任状の交付、新任委員（2名）を紹介

#### 2 議事

(1) 会長・副会長の選出について

○事務局の提案のとおり、会長、副会長を指名

○会長より挨拶

この会議は、北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定、さらには戦略の推進に向けた検証を行うため、平成27年7月の設置以来、現在5年目になるとのことですが、設置当初から参画されている委員の方もいらっしゃる中、会長という重責を担うこととなりました。

皆様のお力添えをもって、務めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本会議では、第2期戦略の骨子案についてこれから事務局の説明のあと、委員の皆様の考えやご意見をいただき、実効性の高い総合戦略を策定するという事です。

非常にボリュームの大きい議事ですが、それぞれのお立場の中で、活発なご議論いただきたいと思っております。

2040年ということですので、自分たちの老後をどうするかということでは他人事ではないと思うので、未来の自分たちの暮らしということで、自分事として有意義な議論、意見を出し合いたいと思っておりますので、ご協力願います。

◎司会進行 会長（会議終了まで）

(2) これまでの経過と今後の予定について

○企画課長から資料2を用いてこれまでの経過と今後の予定について説明を行い、質疑を受けた。

※質疑なし

(3) 人口動態の推移について

○企画課長から資料3を用いて平成27年からの人口動態の推移及び人口ビジョンの改定に関する説明を行い、質疑を受けた。

※質疑なし

(4) 第2期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子案について

<基本的な考え方>

○企画課長から資料1を用いて第2期総合戦略の基本的な考え方に関する説明を行い、質疑を受けた。

※質疑なし

<基本目標1>

○企画課長から資料4を用いて総合戦略骨子案の構成について説明後、経済部長から資料5を用いて基本目標1の主要施策に関する説明を行い、質疑を受けた。

発言者	発言内容
委員	「未来技術」というと、まだ実用化できない、活用できない技術という感じがあるので、「先端技術」としてはどうか。
企画課長	「未来技術」ということでは、AIの進展、IoT、ICTなど様々な技術をイメージしている。国の戦略において「未来技術」という言葉を使っていたことから、市の戦略にも採用したところである。

発言者	発言内容
委員	新函館北斗駅駅前の商業施設用地の未活用部分 1.7 ヘクタールで将来的に大きな企業など呼び込むことが出来るのか。用地として足りるのか。
経済部長	区画整理により整備し、未活用となっている用地が残り 1.7 ヘクタールということから、大企業が進出するに当たって用地が足りないとすれば、規模を縮小した形で進出していただくか、諦めていただくしかない。
委員	追分 I C 周辺で市街化調整区域の見直しという考えがあるようだが、新函館北斗駅駅前の方で区域の検討をすることはしないのか。
経済部長	新函館北斗駅の開業により商業用地の整備をし、鋭意、誘致活動を行っているところだが、市全体の経済を考えたときに、企業誘致を駅前にこだわる必要はないが、未活用地があることから、優先的に駅前への誘致に取り組んでいる。市内の他の場所に進出したい企業が来ても歓迎する。
委員	札幌まで延伸により、人の流れも変わるので、駅前の土地活用の方法を十分に考えていただきたい。
委員	市として、新幹線を利用した人の呼び込みということは考えているか。例えば新幹線を活用した球場・公園などを作ることが出来れば、青森などからも人を呼び込むことは出来るのではないか。
副市長	新函館北斗駅駅前を核の 1 つにするということは間違いのない考え方だが、そこだけに絞り込んで、資源を投資していくということにはならない。全体を見た中で、考えていく必要がある。運動施設ということであると、フットボール場が昨年完成し、新年度からオープンしていくが、それと合わせ、総合運動公園そのものもスポーツ施設以外のオープンスペースをリニューアルし、一般的な公園機能を高めていく、そして多くの皆さんに楽しんでいただくという計画も進めている。そういう意味では、スポーツ施設を活用した集客というのは、駅前ではなく、運動公園の方で集中してやっていくことになる。
委員	当別の方にワイナリーが出来ると聞いたが、もう決定したのか。
経済部長	ぶどうの畑は今年の 5 月に植樹式がありオープンしているが、ワイナリーの開設については、確定した話はない。
委員	北斗市にカーリングチームを作ってはどうかという話を以前されたことがあった。冬季スポーツの促進の一環として、カーリングもできるような設備があっても良いだろうし、市として何かのスポーツに特化した、北斗市の支援するスポーツチームを持つということも考えられる。  第 1 期戦略に記載のあった「いさりび鉄道」に関し、通学・通勤・通院の足として、日々使う人の数を増やしていくということについて、市として力を入れていくという考えはあるか。
経済部長	冬季のスポーツについては室内に限られるので、合宿の落ち込みが激しい。施設があることで賑わいの創出が図られるというものも考えられるが、施設をつくる前提は市民が利用しやすい、ニーズが高いということである。その有効活用策としてのスポーツ合宿誘致であることから、スポーツ合宿を誘致するために施設を設置するというにはならない。また、スポーツ以外では吹奏楽の関係で市外の学校や団体が来て、一緒に練習するなどといったことも考えられる。
企画課長	公共交通については、基本目標 4 の「持続可能な地域づくり」の中で説明していきたい。 市としては、沿線の住民の皆さんに乗っていただくことが一番の課題であり、今までどおり利用促進に努め、鉄路を残していくという姿勢である。

発言者	発言内容
委員	(1)③と(2)①を見ると、新函館北斗駅に特化したように見えるのでは。集客とはどのような人を想定しているのか。観光客として駅に降りてもらおうか、市民を集めることで、雇用創出につながるのか。北斗市の魅力度を高める魅力度とは何か。などといったことを具体的に考えて、素案ではわかりやすく説明してもらいたい。 新函館北斗駅の商業用地 1.7 ヘクタールがなぜ残ってしまったのか、という検証が必要ではないか。

<基本目標2>

○総務部長から主要施策に関する説明を行い、質疑を受けた。

発言者	発言内容
委員	工場や倉庫を建てて新たに進出するといった場合の最大の基準は、労働力の確保できるかだということをよく聞く。そのあたりを総合戦略に組み込んでいただきたい。
企画課長	人材不足解消に向けた移住・定住ということで、各業界における人材不足解消、特に市では介護や保育といった福祉の分野において公的制度を持続していくことが喫緊の課題であると考えている。ある程度ターゲットを決めて取り組んでいる。ただ、すべての分野において人材不足となっているということについては認識している。
委員	自分の持っている会社や工場の近くに、新たな企業が来るとなると、どのような会社なのかが非常に気になる。立地予定地周辺への説明・フォローも同時進行してもらいたい。 外国人実習生についても、工業団地内でも100人程度来ているようだ。今後は会社への支援のほか、外国人実習生個人へのケアも施策に盛り込んでもらいたい。 レクレーションの1つなどでもないと良いのでは。
経済部長	誘致活動する場合には、他の企業の意向も聞いた上で実施していきたい。
企画課長	企業の外国人の受入れ実態を掴み、市として対応しなければならないことや企業がケアできない部分について整理し、準備を進めていきたい。
教育長	社会教育事業の中でも、実習生に目を向けていかなければならない。 例えば、日本語講座の開催、コンサートの案内など。 対象者が様々なところにいることから、企業との連携も視野に入れながら、進めていかなければならない。
委員	ずーしーほっきーの facebook のフォロワー数はどの程度か。また、どの程度まで増やしていきたいと考えているか。
企画課長	フォロワー数は、現在 8,000 人程度である。関係人口の1つとして入れているように、facebook を見ていただいて、人気を増やしていきたい。具体的な数値目標は今のところは考えていない。
委員	人を呼び込むための市民総ぐるみのシティプロモーションとあるが、市民に対してのプロモーションはどのようなことを考えているか。
企画課長	市民総ぐるみとは、市民の方々と一緒に外向けのプロモーションをやりたいという趣旨のもので、市民に対してのプロモーションや市民プライドの醸成といったものについては現在考えていないが、今後は検討していかなければならない。

発言者	発言内容
委員	道内でも、人気のあるゆるキャラがいると思うが、どの程度フォロワーがいるのか。  函館市内の駅・空港では、日本語・英語・ハングル・中国語など、4か国語程度表記されている。このようなものが整備されていると、言葉ゆえのトラブルも若干少なくなるのではないか。また、トイレの使い方がわからない外国人もいるようだが、主要箇所に説明表記する予定があるか。
企画課長	他のゆるキャラのフォロワー数は把握していない。北斗市では、facebookでずーしーほっきーの状況を発信しながら人気を維持することを考えている。今後も今まで以上に驚くような展開を検討していきたい。
経済部長	外国人のための表記で、観光客を意識しているものとしては、新函館北斗駅の観光交流センターでは、日本語・英語・韓国語・簡体語・繁体語の表記がされている。トイレへの表記は情報を持ち合わせていない。外国人技能実習生の多くはベトナム、東南アジアの方であるが、そういった方々を対象とした表記というものがあるかとすれば、思い当たるものはない。

<基本目標3>

○民生部長、教育次長、総務部長から主要施策に関する説明を行い、質疑を受けた。

発言者	発言内容
委員	北斗市は福祉が充実していて住みやすいということをよく聞く。年配になると身に染みる。
会長	コミュニティスクールに関して、いくつかの地域でワークショップをやっていると、地域の力を活かしきれていないということを感じる。

<基本目標4>

○市民部長、総務部長から主要施策に関する説明を行い、質疑を受けた。

発言者	発言内容
委員	骨子ということではあるが、もう少し踏み込んだ、具体的なキーワードが入っても良いのではというものが散見された。 どういった業態の企業に来てもらいたいのか、観光についても誰をターゲットにしていくのか、など書き込んでも良いのでは。 総合計画と違い、総合戦略は5年計画であることから、内容をより踏み込んでいただくとわかりやすく、かつ北斗市ならではのものになるのではないか。 また、社会情勢の変化として、今年はオリンピック・パラリンピックが開催され、空港が民営化される。来年度になると縄文の世界遺産が順調にければ登録され、その翌年にはアドベンチャートラベルのワールドサミットが北海道で開催される可能性が高まってきている。10年後の新幹線札幌延伸を見据えた上で戦略が出来上がるのが良いのではないかと思う。
会長	生活支援コーディネーターを応援する協議体が活発に動いているというところもあるようだが、北斗市ではどうか。
民生部長	市では、社会福祉協議会に委託しており、1層コーディネーターが2人いる。 今年度、各社会福祉法人の協力を得ながら、買い物支援事業を実施するという動きがあったが、対象地域が絞れずに実施に至っていない。 協議体については、今年度立ち上がり、会議等を開催している状況である。

発言者	発言内容
教育長	<p>一般的なコミュニティスクールというのは、地域が学校と一緒に子供たちを育てていくというものである。一方で最終的な目標は同じであるが、市では学校が地域に対して何をできるかを前提とした、北斗市版コミュニティスクールを進めている。</p> <p>保護者以外に学校に来る機会がない地域住民が足を運びやすくするため、地域で行っていた盆踊り大会を学校で開催することで、普段学校に来ることのないお年寄りが集まり、新しいコミュニティが生まれるという活動を行っているところがある。</p>

<全体を通じて>

※質疑なし

(5) その他

次回会議を2月12日(水) 10:00から開催する予定。出席できない場合は、事務局へお知らせ願う。

**3 閉会**

本日の会議を終了する。